

## 2020年度卒業生学修成果アンケート報告

2021年5月  
教学部委員会

2021年3月学位記授与の日に、2020年度卒業生を対象として大学での学修成果に関するアンケート調査を行った。対象となる学生数は153名、アンケート回収数は130、回収率は85.0%であった。昨年度に引き続き、学科ごとに学位記授与を行い、その時にアンケートを実施した。

### 1. 質問項目

アンケートでは、以下の12の能力に関して、学生自身が、大学での授業および活動を通じてどの程度身につけていたと考えるか、ということを探ねた。

- ①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解
- ②専門的な知識・技能
- ③ICT能力（パソコン等を用いて、情報を収集・分析する能力）
- ④コミュニケーション能力（意思疎通、協調性、自己表現能力）
- ⑤外国語能力
- ⑥物事を論理的に考える力
- ⑦文章を作成する力
- ⑧プレゼンテーションをする力
- ⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度
- ⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心
- ⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力
- ⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力

これらの能力の多くは本学のディプロマ・ポリシーで挙げられているものであり、①②は、ディプロマ・ポリシー「1. 知識・技能」、③④は「2. 技能」、⑨⑩は「3. 態度・志向性」、⑪は「4. 総合的な学習経験と創造的思考力」に対応している。それ以外の⑤⑥⑦⑧⑫は、一般に、大学教育で修得、向上が目指されるべきと考えられる能力である。

回答選択肢は、「とても身についた」「ある程度身についた」「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の4つとした。以下、「評価点」と呼ぶものは、それぞれを3点、2点、1点、0点として算出した平均点である。

### 2. 全学のアンケート結果

全学で、「身についた」という評価が高かったのは、「②専門的な知識・技能」と「④コミュニケーション能力」であり、評価点は2.50であった（3点満点）。それ以外の「①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解」「⑩社会への奉仕の精神、および人を

思いやる心」「⑩自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力」「⑫自立して生きていくための就業力」についても、比較的高い評価点であり(2.33～2.38), 90%以上の卒業生が「身についた」と考えている。

相対的に評価が低かったのは、「⑤外国語能力」(1.66)であった。外国語能力についての評価は、これまでのアンケート調査でも最低であったが、今回も同様であり低評価の割合(「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の合計)は57.0%であった。

「③ICT能力」(2.24)「⑨グローバルな視点」(2.18)も比較的低評価であった。低評価の割合は、「③ICT能力」が11.5%、「⑨グローバルな視点」が13.8%であった。

ただし、低評価の3項目は2019年度と比較すると改善している。「③ICT能力」は2.08⇒2.24, 「⑤外国語能力」は1.50⇒1.66, 「⑨グローバルな視点」は2.02⇒2.18となった。その他の項目は概ね昨年度と大きな違いは見られなかった。2018年度は10項目で前年度より評価点が下回っていたが、2019年度からは改善し、その傾向が続いている。

評価点2未満については「⑤外国語能力」のみであった。外国語能力の低評価は例年において本学の課題となっている。昨年度の報告において、「入学時から英語、外国語に対する苦手意識を持っている学生が少なくないと思われるが、これらの授業を通じて少しでも苦手意識を克服してもらいたい」と指摘されており、今年度も同様の指摘をしておきたい。

### 3. 学科別のアンケート結果

学科別で見ると、特にアート・デザイン学科の評価が高かった。全学での評価点平均は2.26であるのに対して、アート・デザイン学科は2.50であった。学科別で他に評価点が高かったのは、心理臨床・子ども学科とスポーツ健康学科(いずれも2.34)であった。逆に評価点が低かったのは健康栄養学科(1.91)であった。

項目別で見ると、どの学科でも「②専門的な知識・技能」については概ね高評価であるが、特にアート・デザイン学科が3.00と高い値を示した。さらに同学科は「①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解」(3.00), 「⑩自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力」(2.75)など、多くの項目で2.5以上の値を示している。

心理臨床・子ども学科では②に加えて「⑦文章を作成する力」(2.56), 「⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度」(2.44), 「⑩自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力」(2.44)が高い評価となった。

国際交流学科では「④コミュニケーション能力」(2.62)と「①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解」(2.46)の評価が高く、学科カリキュラムの特徴が反映された結果と言える。

スポーツ健康学科は「⑤外国語能力」を除いて全体的に評価が高く、特に「④コミュニケーション能力」(2.56), 「⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心」(2.56), 「⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力」(2.46)が高い点が特徴的である。

医療工学科は「②専門的な知識・技能」が2.77と特に高い。加えて「④コミュニケーション

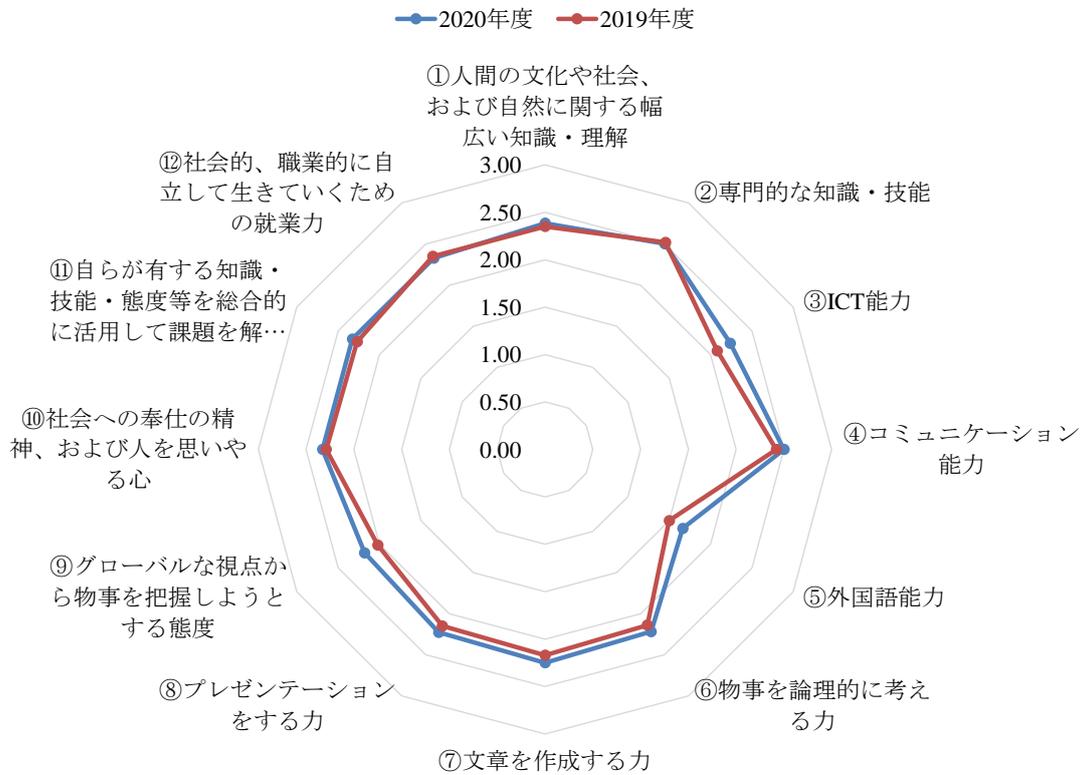
ョン能力」(2.57)や「⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力」(2.47)が高く、全体的にも⑤を除いて安定して高い傾向となった。

健康栄養学科は「④コミュニケーション能力」(2.27)が比較的高い一方で、12項目中7項目で2を下回る評価となった。特に⑨グローバルな視点」(1.47)が顕著に低かった。

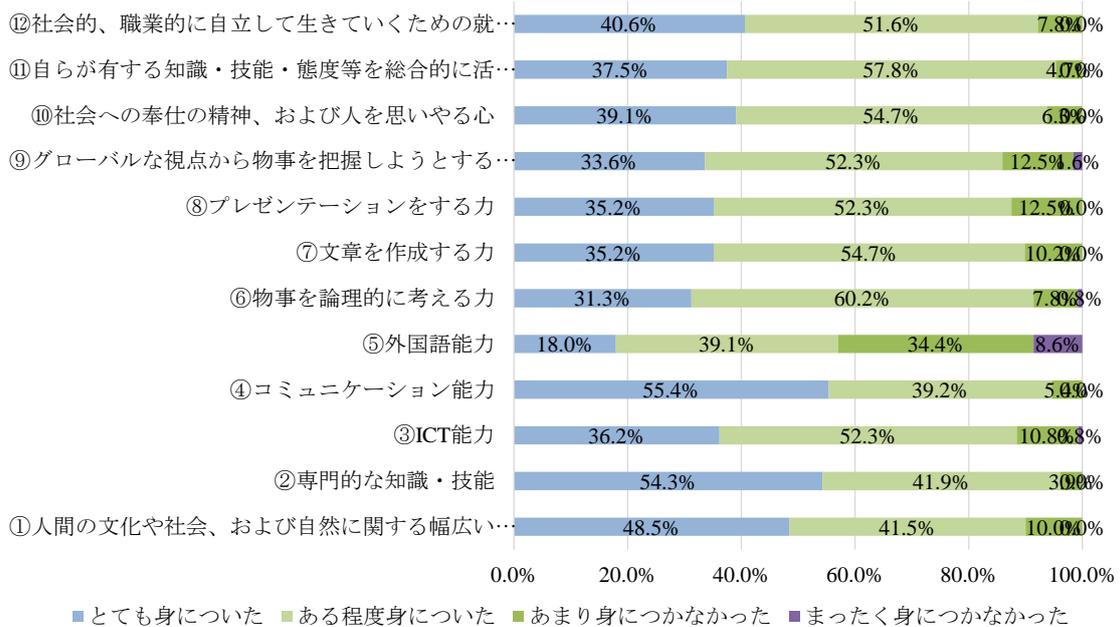
トータルビューティ学科では「③ICT能力」(2.56)が他学科と比較して最も高い点の特徴的であった。また「④コミュニケーション能力」(2.56)も同程度に高い評価となった。

全学平均評価点 2.26 はここ 5 年 (2016 年度 2.18, 2017 年度 2.18, 2018 年度 2.10, 2019 年度 2.19) の評価で最も高い。また、学科によってはカリキュラムの特徴が評価に反映された結果に見える。一方で、昨年度も指摘されたとおり、学科の特徴を強調するあまり、専門的な知識や技能に偏りがちになっているところもあるのではないかと懸念される。外国語能力に加えて、論理的思考力や文章作成力など、学士課程卒業に値する様々な知識、能力をバランス良く身につけさせることが今後の課題といえる。

### 全学評価点



### 全学回答比率



	心理臨床 (16名)	国際交流 (13名)	スポーツ (43名)	医療工 (30名)	健康栄養 (15名)	アート (4名)	TB (9名)	全学 (130名)
①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解	2.38	2.46	2.49	2.40	1.93	3.00	2.22	2.38
②専門的な知識・技能	2.56	2.31	2.44	2.77	2.33	3.00	2.22	2.50
③ICT能力	2.31	2.00	2.35	2.23	1.80	2.50	2.56	2.24
④コミュニケーション能力	2.31	2.62	2.56	2.57	2.27	2.50	2.56	2.50
⑤外国語能力	1.75	2.08	1.66	1.47	1.20	2.00	2.22	1.66
⑥物事を論理的に考える力	2.38	2.00	2.29	2.30	1.93	2.25	2.11	2.22
⑦文章を作成する力	2.56	2.31	2.34	2.13	1.87	2.00	2.33	2.25
⑧プレゼンテーションをする力	2.38	2.31	2.32	2.13	1.93	2.50	2.11	2.23
⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度	2.44	2.31	2.32	2.10	1.47	2.50	2.22	2.18
⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心	2.25	2.15	2.51	2.33	2.07	2.50	2.22	2.33
⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力	2.44	2.23	2.37	2.43	2.07	2.75	2.00	2.33
⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力	2.31	2.15	2.46	2.47	2.00	2.50	2.00	2.33
平均点	2.34	2.24	2.34	2.28	1.91	2.50	2.23	2.26

学科別低評価割合 ※「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の割合

	心理臨床 (16名)	国際交流 (13名)	スポーツ (43名)	医療工 (30名)	健康栄養 (15名)	アート (4名)	TB (9名)	全学 (130名)
①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解	18.8%	0.0%	7.0%	10.0%	20.0%	0.0%	11.1%	10.0%
②専門的な知識・技能	6.3%	7.7%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%
③ICT能力	12.5%	15.4%	14.0%	3.3%	26.7%	0.0%	0.0%	11.5%
④コミュニケーション能力	12.5%	0.0%	7.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	5.4%
⑤外国語能力	43.8%	15.4%	44.2%	53.3%	73.3%	0.0%	0.0%	42.3%
⑥物事を論理的に考える力	12.5%	23.1%	7.0%	3.3%	6.7%	0.0%	11.1%	8.5%
⑦文章を作成する力	0.0%	7.7%	7.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
⑧プレゼンテーションをする力	18.8%	0.0%	9.3%	16.7%	20.0%	0.0%	11.1%	12.3%
⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度	6.3%	7.7%	7.0%	16.7%	46.7%	0.0%	11.1%	13.8%
⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心	6.3%	7.7%	4.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	6.2%
⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力	0.0%	0.0%	7.0%	3.3%	0.0%	0.0%	22.2%	4.6%
⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力	6.3%	15.4%	4.7%	3.3%	13.3%	0.0%	22.2%	7.7%